



記者発表資料

**首都国道事務所発注工事において「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行し、「施工箇所が点在する工事の積算」、「難工事指定」及び「余裕期間制度」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道298号千葉外環道路改良工事」について、別紙のとおり不調・不落対策を試行及び採用します。

① 「見積活用方式」

本工事は、市街地であり現道交通及び沿道住宅等の出入りを確保しながら狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

② 「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

③ 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に解離が生じることが予想されるためその妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

④ 「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

⑤ 「余裕期間制度」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことができるため、事前の建設資材、労務者確保等の準備を行うことができる制度です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、  
千葉県政記者会、松戸記者クラブ、市川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

電話 047-362-4111（代表）

副所長 おおさと ひろと 大里 弘人 工務課長 いとう ひとし 伊藤 仁

## 《工事概要》

(1) 工事名：R2国道298号千葉外環道路改良工事

(2) 工事場所：【矢切堀之内・国分地区】 自) 東京都葛飾区東金町8丁目  
かつしかくひがしかなまち  
 至) 千葉縣市川市国分6丁目  
いちかわしこくぶん  
 【大和田地区】 千葉縣市川市大和田3丁目地先  
おおわだ  
 【稲荷木・田尻高谷地区】 自) 千葉縣市川市稲荷木2丁目  
とうかぎ  
 至) 千葉縣市川市田尻  
たじり

(3) 工期：工期の始期から339日間（工事着手期限 令和3年4月27日）

(4) 入札方式：総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）

(5) 工事種別：一般土木工事 C

(6) 工事内容（概要）：

## 【矢切堀之内・国分地区】

舗装工	1式
アスファルト舗装（歩道部）	約120 m <sup>2</sup>
縁石工	1式
防草対策工	1式
防草シート	5,000 m <sup>2</sup>
小型標識工	1式
構造物撤去工	1式

## 【大和田地区】

遮音壁工	1式
基礎	16 m
遮音板	14 m

## 【稲荷木・田尻高谷地区】

舗装工	1式
アスファルト舗装（車道・路肩部）	約 2,000 m <sup>2</sup>
アスファルト舗装（歩道部）	約 230 m <sup>2</sup>
切削オーバーレイ	約 970 m <sup>2</sup>
擁壁工	1式
場所打擁壁	47 m
カルバート工	1式
プラスチックボックス（600×600）	47 m
排水構造物工	1式
防護柵工	1式
小型標識工	1式
区画線工	1式
構造物撤去工	1式
仮設工	1式

## 《見積活用方式について》

## ○見積の提出を求める工種

- ・『稻荷木・田尻高谷地区』の直接工事費のうち、「カルバート工」、「仮設工」

## ○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に住宅が連坦し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通の出入り、かつ歩行者及び自転車等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならざるをえず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

## 《施工箇所が点在する工事の積算について》

本工事は施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

## 《間接工事費実績変更方式について》

## ○実績により変更を行う工種

- ・共通仮設費（率分）のうち、「安全費」及び「運搬費」

## ○実績により変更を行う理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に住宅が連坦し交通量も多い箇所です。

そのため、現道交通の出入り、かつ歩行者及び自転車等の通路を確保しながら施工しなければならず、交通規制帯をこまめに分割して施工しなければならないことから、「安全費」について標準歩掛と乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連坦することから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、「運搬費」において標準積算と乖離が想定されます。

以上の点より、「間接工事費実績変更方式」の対象項目として「安全費」「運搬費」を対象とします。

## 《難工事指定》

本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる箇所が点在しており、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

## 《余裕期間制度》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限（令和3年4月27日）までの間で、受注者が工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

## 《スケジュール》

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付        | : 令和3年2月 2日（火） |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限 | : 令和3年2月17日（水） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限      | : 令和3年3月 5日（金） |
| ○開札日                  | : 令和3年3月10日（水） |